

金星探査計画 PLANET-C の現状

Current status of PLANET-C Venus mission

中村 正人 [1]; 今村 剛 [2]; 阿部 琢美 [3]; 上野 宗孝 [4]; 金星探査計画ワーキンググループ 小山 孝一郎 [5]

Masato Nakamura[1]; Takeshi Imamura[2]; Takumi Abe[3]; Munetaka Ueno[4]; Koh-Ichiro Oyama Venus Exploration Working Group[5]

[1] 宇宙航空機構宇宙研本部; [2] JAXA 宇宙科学本部; [3] JAXA 宇宙研; [4] 東大・教養・宇宙地球; [5] -
[1] ISAS/JAXA; [2] ISAS/JAXA; [3] ISAS/JAXA; [4] Dept. of Earth Sci. and Astron., Univ. of Tokyo; [5] -

<http://www.stp.isas.jaxa.jp/venus/>

宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部を中心として、全国の大学等研究機関の参加のもとに、PLANET-C 計画 (Venus Climate Orbiter) が進行中である。2004 年度からプロジェクトは正式にスタートして、現在、衛星の試作モデルの設計段階 (PM、Phase-B) にある。探査機は 3 軸姿勢安定型で、赤外から紫外までの多チャンネルの 5 台のカメラと電波遮蔽観測用の高安定発振器を載せて 2010 年前後に打ち上げられる。金星到着後は、地球の気象衛星のように、周回軌道上からの連続的な撮像観測によって金星の大気力学を動画として可視化する。その成果は単に惑星の理解にとどまらず、惑星気象学の確立のための重要な一歩となる。PLANET-C はまた、金星到着までの飛行中における黄道光 (惑星間ダスト) の観測や赤外線による地表面の観測も行う。PLANET-C が行う観測は一足早く 2005 年 11 月に打ち上げられた欧州の Venus Express と相補的であり、両ミッションの協力が期待される。